

実績報告書

		大阪市住之江区泉1-1-82		ハマダ株式会社 代表取締役社長 濱田 隆司
届出者		住所	氏名	
特定事業者の主たる業種			80娯楽業	
該当する特定事業者の要件			レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者
				大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者
事業の概要			大阪市内でゴルフ練習場、遊戯施設、温浴施設、及び、不動産賃貸を行っている。	

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	3,164 t-CO ₂	2,972 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	3,558 t-CO ₂	3,354 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	5.2 %	%	%
		削減率(原単位ベース)	5.2 %	6.1 %	%
削減率(平準化補正ベース)		4.5 %	5.8 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>照明設備では、29年5月にナムコ店舗の照明をLED器具に更新した。さらに、29年9月にゴルフ打球場の蛍光灯電球650本をすべてLED球に交換した。</p> <p>空調設備では、29年7月にさぬきやの空調機を更新した。29年11月には、ゴルフ地階の空調機を集中型から個別空調タイプに更新した。</p> <p>スパの脱衣場の設定温度を適正化するため、大型の扇風機を設置し、湯上りの暑さを扇風機の風で冷やすことにより、設定温度を2度程度上昇させ省エネ化を図った。</p>
<p>従来からの対策を含めて、省エネ化ができたと考えている。</p>

(2) 推進体制

エネルギー管理責任者（社長）を中心に、支配人、業務責任者を含めた定例会議において、実績の把握や対策の決定を行っている。

実績報告書

		大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アブローズタワー19階	氏名	阪急阪神リート投信株式会社 代表取締役社長 白木 義章
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		阪急リート投資法人保有の賃貸ビル（事務所・店舗）等不動産資産の管理運用等		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017 年	4 月	1 日	～	2020 年	3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	5,407 t-CO ₂	5,178 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,003 t-CO ₂	5,772 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース)	%	%	%
		削減率(原単位ベース)	3.0 %	4.5 %	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0 %	4.1 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>平成29年度の温室効果ガス削減状況としては、主な事業所の北野阪急ビルでの削減（共用部照明LED化等の施策による電気使用量減や、平成28年度に設備不具合によるガス使用量増加の時期があったと見込まれることの反動減等が要因と推測）が主に寄与し、全体では第1年度で基準年度比4.5%の原単位削減となったものと思料。</p>
--

(2) 推進体制

大半のビルの管理運営を委託している阪急阪神ビルマネジメント㈱や、他の管理会社においても随時エネルギー使用に対する監視及び削減対策を実施。また阪急阪神ホールディングスグループの一員として、阪急阪神ホールディングス環境委員会の啓蒙活動を推進。

実績報告書

届出者	住所	大阪市福島区吉野 1-21-14	氏名	株式会社 阪神住建 代表取締役 岩崎 圭祐
特定事業者の主たる業種		69不動産賃貸業・管理業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		分譲事業・賃貸事業・アミューズメント事業・マンション管理事業 再生可能エネルギー事業・社会福祉事業		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2017)年度
温室効果ガス総排出量	10,179 t-CO ₂	11,478 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)	10,792 t-CO ₂	12,257 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (年度)	第3年度 (年度)
選択	レ	削減率 (排出量ベース)	%	%	%
		削減率 (原単位ベース)	3.0 %	-12.8 %	%
削減率 (平準化補正ベース)		3.0 %	-13.6 %	%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>昨年は冬季の気温が低くそれに伴い給水温度も低くなりボイラーの燃料消費量が前年より大幅に増大</p>
--

(2) 推進体制

前年の燃料消費の増大を反省し、高負荷時の運転方の見直しを行う。
